



府職労2015

新入組合員・若手職員のつどい

楽しく「元気に学んで交流

7月10・11日、滋賀県大津市のアヤハレクサイドホテルで「府職労2015新入組合員・若手職員のつどい」を開催し、全体で75名が参加しました。

1日目は仕事を終えてみんなが集まり、夕食交流会を行い、大いに交流を深めることができました。

2日目は首都圏青年ユニオン副委員長の武田敦さん

を講師に「ブラック企業の実態と労働組合の役割」の講演と小松書記長の「労働組合は何のためにあるの？」と題した基礎講座を行い、

ブラック企業やブラックバイトの実態、労働組合の役割、貧困に向かい合う運動の必要性などを学びました。

講演と基礎講座のあとは、グループにわかれてグループトークを行い、昼食はみんながバーベキューを楽しみました。

参加した青年・若手組合員からは「ブラッ



首都圏青年ユニオン武田副委員長の講演



ク企業が身近な問題だと感じました」「大学生の時には気づかなかつたけれど、若い大学生が声をあげて活動していることに驚きました」「労働組合の必要性が学べました」「このままでは格差社会がどんどん助長されてしまうという危機感

を感じました」「他の職場の若者と話して情報共有ができて有意義だった」「いろいろな話ができ楽しくかつた。若者の集まる機会が増えたらいいなあと思います」「これからもこんな企画があれば参加していきたい」などの感想がたくさん寄せられています。

「戦争法」ではいのちは守れない

第25回近畿自治体病院交流集会



宇宙的規模から、ヒトのつながりを感じる
記念講演①では、西はりま天文台・天文科学専

門員の鳴沢真也さんが「科学から考える人間」人は、なぜ看護するのかわ」と題して講演し、宇宙の誕生から現代までの人間の時間的、空間的位置を考えると、ルーツのホモサピエンスが発展してきたのは奇跡的であり、そこには助け合いがあったからで、人種的な偏見など意味のないことだと強調し、命の大切さ、平和の大切さを強調されました。記念

6月27・28日、「まもろう・つくる」地域の絆」ともつと「笑顔の職場」をスローガンに、第25回近畿自治体病院交流集会が神戸市で開催され、24病院127名(府職労病院労組から13名)が参加しました。

四日市市職労(三重県)・府職労共催

サンシャインフェスタ2015

日時

8月8日(土) 11時~15時

(府庁周辺8時30分集合、貸切バスで行きます)

場所

サンシャインパーク亀山

参加費

◇青年組合員と2014年4月以降採用の職員は3000円

◇その他5000円

(バーベキュー・飲み物・往復交通費を含む)

募集定員 35名

BBQ! 大なわとび! ビンゴゲームなどイベント内容はただいま協議中! 水遊びもできそうなところ。当日は動きやすい服装でください! ビールや酎ハイ、ワインも用意します!

参加申し込みは、府職労かお近くの組合役員まで

特別報告として、府職

府職労の「住民・利用者アンケート」が仲間の励ましに

特別報告として、府職

基調報告では、私たちが地域住民と共同して地域医療を支えることが、安倍内閣が進める「戦争する国づくり」「健康医療を破壊する社会保障改革」に反撃するたたいことなることを確認しました。

講演②では、神戸協同病院の上田耕蔵院長より「阪神・淡路大震災20年の時を経て、災害時に医療は提供できるか」と題し、東日本大震災と比較しながら、災害拠点病院などの課題を明快に話され、参加者全員で問題意識を共有することができました。

2日目は4つの分科会に分かれ、活発な議論が行われ、大いに交流しました。集会の最後には、『医療保険改悪法』の強行に抗議し、法の具体化を阻止しよう! 『安全保障法』『自衛隊の海外活動等関連法』を廃案にしよう! の特別決議を全会一致で採択し閉会しました。